

第40回 総合関関戦 日程表

種目	場所	開始	終了
<b>1日目 6月16日(金)</b>			
少林寺拳法	新学生会館2階 合気道場	14:00	16:30
バスケットボール	総合体育館2階 大フロア(北)	女子 17:00	19:00
		男子 19:00	20:30
<b>2日目 6月17日(土)</b>			
洋弓	第2フィールド 洋弓場	9:30	17:30
庭球	第4フィールド テニスコート	男子 9:30	18:00
バレーボール	総合体育館2階 大フロア(北)	女子 10:00	13:00
		男子 14:00	17:00
フェンシング	総合体育館1階 フェンシング場	10:30	15:00
空手道	総合体育館2階 小フロア	11:00	12:00
相撲	新学生会館1階 相撲場	13:00	14:00
準硬式野球	第3フィールド 野球場	13:30	16:00
剣道	総合体育館2階 小フロア	15:00	17:00
卓球	総合体育館1階 卓球場	15:30	18:00
サッカー	第4フィールド サッカーコート	男子 17:30	19:30
<b>3日目 6月18日(日)</b>			
庭球	第4フィールド テニスコート	女子 9:30	17:20
		女子 10:00	11:00
ラクロス	第3フィールド	男子 12:00	13:00
ソフトテニス	第1フィールド テニスコート	10:00	15:00
器械体操	総合体育館2階 小フロア	10:30	17:20
レスリング	新学生会館3階 レスリング場	10:30	12:00
合気道(演武)	新学生会館2階 合気道場	10:30	12:00
陸上ホッケー	三田キャンパス 人工芝グラウンド	男子 11:00	12:30
		女子 13:00	14:30
硬式野球	第3フィールド 野球場	13:00	16:00
ハンドボール	総合体育館2階 大フロア	女子 14:40	15:50
		男子 16:00	17:10
<b>6月16日(金)~6月18日(日)</b>			
航空	福井	空	港
		6:30~	

第40回目となる総合関関戦が今年も6月16日から18日にかけて行われる。今回は本学がフィールドとなり、史上初の9連覇を目指している。フィールドは西宮上ヶ原キャンパスと神戸三田キャンパスが使用される。

今回のスローガンは「響」である。この言葉には二つの意味が込められている。一つ目は、選手と試合を観戦している観客が共に感動し合うことである。二つ目は、関関戦を機に本学と関西大学の名を全国に広めたいという思い

だ。このスローガンは体育会学生本部に所属する3回生が主体となり決定した。開催にあたって、体育会学生本部部長の仙元志帆さん(人福・4)に話を聞いた。まず、今回の関関戦で9連覇がかかっていることについて

栄光の9連覇へ  
第40回総合関関戦



2017年5月26日 第832号

発行 関西学院大学新聞 総部 ☎662-0891  
西宮市上ヶ原1番町1-155  
関西学院大学新学生会館3F  
電話：(0798) 51-1181  
E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp  
HP: http://kgpress2009.wixsite.com/kgpress2015  
Twitter: @kg\_shinbun

が一体化される。栄光の9連覇を目指す今回を機に、多くの人が応援に行き声援を「響」かせよう。

また、試合をするにあたり応援は絶対条件と言っても過言ではない。「本学がフィールドで試合が行われるので、学生だけに限らず、一般の人々にもたくさん試合を観戦してほしい」と仙元さんも希望を述べた。

本部長として「体育会学生本部部長と運営を行う実行委員長が二人とも女性ということが歴代で初めてのため、今年も絶対に勝ちたい」と意気込みを語った。今回の関関戦で9連覇を果たすと、新たな歴史が生まれるに違いない。

は「40回目という節目の年に、本学のフィールドで試合が行われるため、絶対に勝ちたい。また、歴代の上回生が作り上げてきた連覇を決して絶やさないでほしい」と激励の言葉を贈った。



体育会学生本部部長の仙元志帆さん(人福・4)

- 2面 KGニュース UNHCRより感謝状
- 3面 日進月歩 「連載」追跡!! S.G.U
- 4,5面 関学チャペルアワー特集
- 6面 教授の背中 お店探し隊
- 7面 K.G. studio
- 8面 お好み1日旅行



## みんなでつくる大学図書館 大学図書館利用実態調査

「長く居てほしいから本棚を迷路に」  
ユニークな回答依頼の宣伝は話題となった

新年度が始まり、図書館で勉強するという方も多だろう。昨年10月3日〜10月31日にわたり実施された「大学図書館利用実態調査」の結果が4月7日に発表された。この調査は、2016年度秋学期開始時点で、本学に在学する正規学生(学部・大学院)24,315人を対象に行われた。しかし、西宮聖和キャンパス図書館については、今年の4月より西宮上ヶ原キャンパス図書館分室となったため、この調査には含まれない。今回は、大学図書館利用サービス課の魚住英子さんに話を聞いた。

魚住さんから「アンケートに対する回答率が低い」との話があった。大学図書館では、2004年から4年毎に学部生と大学院生を対象とした「関西学院大学図書館利用実態調査」を行っている。2004年から前回の2012年までは、郵送による調査を行っていたが、今回

よりスマートフォンやパソコンからアクセスできるWeb調査で実施した。しかし、前回までと比べて手軽に回答できるようになったにもかかわらず、今回の調査でも回答率の低さが問題となった。学部生の回答率は全体の15.1%、また大学院生は27.0%とかなり低い結果となった。この数字は初回の2004年から今回までで最も低い回答率である。

学部	回答数	依頼数	回答率
学部1年	1,023	6,144	16.7
学部2年	886	5,591	15.8
学部3年	786	5,253	15.0
学部4年	807	6,281	12.8
前期課程	138	565	24.4
後期課程	63	140	45.0
専門職	81	341	23.8
合計	3,784	24,315	21.92857

※依頼数=在籍者数  
回答率の低さが目立つ

この調査は、4年に1回のため、今在学しているほとんどの学部生・大学院生はもう調査の対象になることはない。未来の関学生には、積極的な協力を期待したい。また、今回の結果は図書館のホームページに詳しいものがあるので、確認してもらいたい。

大学図書館は、この調査に大きく二つの目的を持っている。一つ目は、主な利用者である学部生と大学院生のニーズの把握である。二つ目は、大学図書館の自己点検・評価の目標達成度評価に必要な情報を得るためである。

この調査は、4年に1回のため、今在学しているほとんどの学部生・大学院生はもう調査の対象になることはない。未来の関学生には、積極的な協力を期待したい。また、今回の結果は図書館のホームページに詳しいものがあるので、確認してもらいたい。

昨年、アドラー心理学の「嫌われる勇気」を原作としたドラマが話題となった。総合ニュースサイトORICON NEWSによると、原作「嫌われる勇気」とその続編は、ともに2016年年間本ランキングの売上上位20位以内に入り、合計売上数の推定は90万冊にも上った。自己啓発本やハウツー本は他の本でも、カバーのアレンジや、漫画版を出版するなどの工夫が凝らされ、「固くて手が出しにくい」というイメージからの脱却を図っている。これらの本は、読むことによって新たな知見や視点を得ることができ、モチベーションも上がる。実際に成功を重ね、自分にとっての幸せを掴んだ著者の言葉は、他の人のものと比べて重く感じる。人生を考える時期にある大学生には、特に重く響くのではないだろうか。しかし、こういった本に頼り過ぎて「考えることの外注」をしていないだろうか。本に記されている道を辿っても成功するとは限らない。また、当たり前だが人によって価値観は異なる。著者にとっては無意味に見えたものが、あなたには価値のあるものかもしれない。人生に「たったひとつの牙えたりかた」はない。他人の生き方を真似してしまおうと内容の薄い、機械的な人生になってしまおう恐れがある。自ら悩み迷い、少しずつ足を進める。その足跡が最後に「あなたの人生」として世に残るだろう。



# 加害者に ならないために

## 身近に潜むハラスメント

新年度が始まり多くの学生が新生活を送る中、ハラスメントは身近に起こりうるものである。そしてそれは自身が被害者となるだけでなく、加害者となる可能性もあるのだ。

新生の多くは既に各サークル、部活動へ正式に加入したことになる。しかし、それらは往々にして閉じられた場でありハラスメントの温床になりやすい。特に先輩や顧問、OBと新生との関係は気を

付けるべきだ。団体内での暗黙の了解のもと、暴力や暴言、未成年への飲酒の強要が行われていないだろうか。

こうしたハラスメントの加害者にならないためには、日ごろから自身の言動に注意を払うとともにハラスメントを許容する空気を放置しないことが重要だ。相手を尊重したコミュニケーションを心掛け、意図的な仲間外れをしないような気を配ることを忘れてはならない。事件が起きてし

まうと当事者だけの問題ではなく、団体そのものの存続にかかわる。

関西学院大学ハラスメント相談センターでは、このような団体内でのハラスメント行為を未然に防ぐために学内団体向けのハラスメント講習会の受け付けを行っている。自身の団体におけるハラスメントへの意識を高めるには絶好の機会になるはずだ。さらに各部署に相談受付窓口を設置している。1学部につき担当教員と職員が1人ずつ配置されており、忙しい人や直接相談センターへ向かうことに気後れしている人でも気軽に利用できる。所属する学部とは異なる学部の窓口でも利用することが可能だ。また、神戸

三田キャンパスでは各学期2、3回の割合で1日相談会が開かれている。この開催日は相談センターホームページの重要なお知らせの欄に随時掲載されるため、総合政策学部や理工学部の学生は確認しておくとういだろう。

どのような行為がハラスメントなのかを知り、日々の生活で注意することは、被害に遭わないだけでなく加害者とならないためにも不可欠だ。4年間の大学生活を快適に過ごすためにも、ハラスメント相談センターホームページにアクセスしてみたいかがだろうか。



ハラスメント相談センターのホームページ

# 楽しく初の弁論を

## 第19回全日本学生新人ディベート大会

梅雨の陰気さを吹き飛ばすように、初々しい学生による熱い弁論が繰り広げられる。6月11日に東京都代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにて、第19回全日本学生新人ディベート大会が開催される。本大会への参加資格は、大学ディベートを始めて1年未満であることか、公式大会への出場歴が1年未満又は未出場のどれかと、大会名の通り新人ディベーターのみで開催される大会だ。

文化総部ディベートクラブも、並み居る他大学とともに本大会へと参加する。ディベートクラブは毎週火曜日、金曜日の放課後にディベートやブレインストーミングなどを行い、修練の日々を送っている。大会前には、活動日以外でも時間があれば部室に集まり、選手に限らず部員が一丸となり、大会に備える準備を進める。特に今回は新入限定の大会のため、上回生は、今までの経験をいかに新入生

に伝えられるかが試される。今回の大会で弁論される論題は「日本は正社員の解雇における金銭解決制度を導入するべきである」だ。これに対し、部長の南部直樹さん(経・3)は「一見難しそうだが、割と取り組みやすくて新人向けではないだろうか。ディベートで大切なのは武器作り、つまり前準備だ。情報を集め、賛成・反対のどちらの立場になっても、自分たちの言いたいことを言うようにする。また、意見と同時に反論もできるようなパターンを多く作ることが勝敗を分ける」と前向きに語った。

今大会での主役である新入生に対して、南部さんは「先代ではディベート経験者がいたため、勝利を取ることができた。ただ、ディベートは

関東の大学がとて強く、上回生に経験者のいない今代では連勝は難しい。新入生には勝利を目指すことも大事だが、まずはディベートを楽しむんでもらいたい」と話した。ディベートクラブはこの新入大会を越え、11月に開催されるJDA秋季ディベート大会での勝利を今代の目標にしている。この大会ではディベートクラブから2チームを編成して出場予定だ。それまでに、新入生は南部さんが求める「ディベートを楽しむ、かつ難しいことも立ち向かい、考えるディベーター」と成長できるのか。今大会

# 難民問題を身近に UNHCR より感謝状授与

昨年の12月、本学は国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日事務所から感謝状を授与された。2007年度からUNHCRとの協定も

と、全国初の難民を対象とする推薦入学制度を開始したこと、難民問題を啓発するために実施されている「UNHCR難民映画祭」に2014年より協力し、本学のキャンパスでも上映されていることが評価された。

現在、推薦入学制度は年に3名の受け入れ枠があり、学費は全額免除される。さらに、寄附をもとに生活費が毎月8万円支給され、寮も優先的に手配されるといったサポートが受けられる。本学では今年度までに、19名の学生を受け入れてきた。

一方で、課題もある。近年は受け入れ3枠のうち、1枠しか埋まらないことが多い。

宗教総主事の舟木讓教授は「面接試験の基準に達する学生が少ないのが現状だ。今後は、受け入れ枠を埋められるように関係部局と相談して取り組みたい」と話す。

この推薦入学制度は、利用した学生が将来、母国や日本、国際社会で活躍することや、本学の他の学生が国際問題を身近に捉えるきっかけとなることを目的として作られた。これら2つの目的に加え、舟木教授はこの制度に「社会から見えなくされてしまいがちな人々に、関学生が目を向けるきっかけになれば」と期待を寄せる。

また、難民をテーマにした映画祭は、本学の総合政策学

部生が大学やUNHCRに働きかけたことで、関西で初めて実現した。現在では大学側も予算を組んでおり、今年も秋も開催予定である。

難民を対象とする推薦入学制度と映画祭の開催は、まさに本学のスクールモットーである「Mastery for Service」の精神を体現したものである。大学側と学生側の双方の取り組みが、今回の感謝状授与に繋がったといえるだろう。今後も、これらの取り組みが継続・発展されていくことを期待する。

# 生の声を届ける

## 総部放送局、生放送イベント開催

4月12日から14日までの3日間、総部放送局が新入生向けに「KGB LIVE」関学くらべてみましたの生放送を行った。

このイベントは、ある共通点を持った3組をあらゆる角度から比較しようという企画である。1日目は「電波を支配する関学生」、2日目は「合唱に全てを捧げる関学生」、3日目は「応援で元気を届ける関学生」というテーマを越えた新入生、そしてディベートクラブの未来に期待がかかる。(A・M)

1日目は、総部放送局内に存在する3つのパートがそれぞれの特徴を生かした部のPRを行った。アクターパートは滑舌の良さを生かして早口言葉を、ミキサーパートは音響や映像の編集技術を生かしてアレンジ音楽を、ディレクターパートは番組制作での発想力を生かして大喜利を披露した。2日目は、混声合唱団エゴラド、グリーククラブ、聖歌隊からゲストを招いた。それぞれの良いところや悪いところなどを討論し、実際に合唱の放送なども行った。3日

目は、応援団総部指導部、吹奏楽部、チアリーダー部からゲストを招き、本学の食堂BIG MAMA横ブラザの特設ステージにて公開生放送トークを行った。

今回の企画を担当した喜多祐輔さん(社・2)は、「それぞれの部活動に所属する人々の生の声を新入生に届けたいと思い、このイベントを企画した。私はこれまで、人をまとめた経験がなかった



総部放送局のみなさん

# 新聞総部新入部員募集中

Twitter: @kg\_shinbun 取材情報更新中! DM・リブ対応しています

Facebook: 「関西学院大学新聞総部」で検索 毎週部員コラム更新中!

HP: <http://kgpress2009.wix.com/kgpress2015> バックナンバー掲載中!

100 men and it never came to like it  
who first  
South Colo  
hatchuel  
strides the  
St. Tropez really  
to use for amusement  
one part of water socks, a  
The second issue  
Demetrius the man he felt

# 論説 日進月歩

## 『現金社会・日本の将来』

皆さんは買い物をするとき、どのような手段で支払いをするだろうか。最近では日本でもクレジットカードや電子マネーによる決済が普及してきている。特にSuicaやWALONといった電子マネーを導入する店舗は増え、利用金額に応じたポイントサービスも充実してきた。しかし、依然として現金で支払いを済ませるという方も多いだろう。実際アメリカや中国、韓国などと比較しても、日本のキャッシュレス（現金以外の手段で支払いをする）比率はかなり低い。現金社会・日本から現金が消える日は果たしてやってくるのだろうか。

まずはキャッシュレス比率が100%に迫る北欧の国スウェーデンの様子を見てみよう。支払いには「スウィッシュ（Swish）」というスマートフォンアプリを使用する。スマートフォンに相手の電話番号を入力し、銀行口座を経由してお金をやり取りする仕組みだ。単に決済だけではなく、友人同士のお金の貸し借りにも使える。その手軽さから、今では国民の多くがスウィッシュを使用している。街中では現金決済ができない店も増えていて、強盗やひったくりといった現金を狙った犯罪は減少傾向にある。またスウェーデンの銀行の半数以上は、もはや現金を置いていない。こうした状況を受けて、スウェーデン中央銀行は世界初となる電子通貨の発行を検討しているという。もはや日常生活から現金が消えた国は、通貨のあり方さえも変えようとしている。

さらにカードもスマートフォンも使わずに、手ぶらで買い物できるような取り組みも始まっている。神奈川県川島の湯河原温泉では、指紋による決済サービスが始まった。事前に利用者の親指と人差し指の指紋データを、クレジットカード情報とひも付けて登録する。あとは旅館の売店や周辺の飲食店で、親指と人差し指を1回ずつタッチするだけで決済が完了する。クレジットカード決済のようなパスワードの入力も必要ないため、本当に指だけで決済ができるようになった。「手ぶら決済」が普及し、ストレスなく買い物を楽しめるようになる日が来るのもそう遠くはない。

このように現金利用が多い日本でも、キャッシュレス化は確実に進んでいる。しかし、この流れが今後も進むのかどうかは怪しいといわざるを得ない。背景には、最近急速に普及が進んでいるデビットカードの存在がある。デビットカードは銀行口座から代金が即座に引き落とされるため、利用金額の管理がしやすいというメリットがある。クレジットカードと違って使いすぎる心配もないため、銀行側としては現金からの切り替えを促したい考えだ。そして今年4月からは、デビットカードを使った「キャッシュアウト」と呼ばれる仕組みが解禁された。この仕組みを使えば、小売店のレジでも現金が引き出せるようになるというのだ。手数料は小売店側が負担するため、

レジを手数料のかからないATMとして利用できるようになる。暗証番号を入力するだけで手続きは完了するため、スパーで買い物するついでに現金を引き出すといった利用も可能になる。ただし、現在は必要な法律が整備された段階であり、実用化に向けた課題はまだ多い。実際にキャッシュアウトが利用できるようになるまでには、もう少しばかり時間がかかりそうだ。

日本でも現金への需要がなくなる背景には、日本人のクレジットカードに対する恐怖感や、現金への愛着があるからなのだろう。実際に、現在日本国内に設置されているATM（現金自動預け払い機）の台数は19万台を超えている。このうちコンビニエンスストアに設置されているのは5万台にも上る。確かにATMが近くにあるのなら、現金を持つことよって発生するデメリットはあまり見当たらない。さらにキャッシュアウトが可能になれば、実質ATMとして使用できる拠点は増える。結局、より現金を引き出しやすくなり、日本人の現金で支払う傾向はさらに強まるのではないだろうか。将来的にデビットカードが普及すればするほど、キャッシュアウトによる現金の引き出しが増えるという、まさに矛盾を抱えている。

もし本当にキャッシュレス化を進めたいのなら、ATMの数を減らせばよいのだ。しかし現金を引き出す需要はあるとみて、コンビニATMを中心に設置台数は今後も増える見通しだという。キャッシュアウトを導入しても、キャッシュレス化の流れが止まるだけである。このままでは、現金社会・日本に現金が消える日は永遠にやってこない。

ポータルフォリオとは何かという点を説明しよう。これは学生の学習記録、成果の「可視化」を行うことにより学生の「振り返り」を促進し、教育の質保証を行うためのツールである。大学生活における経験やその時々々の想いを整理するのを助けてくれる。例えば、授業を受け専門知識の修得をする。留学や自分が感じたことをこまめに蓄積できる。



### 追跡!! SGU 第14回

質の高い大学生活を支援する  
「KGPortfolio」サービス開始



クラブ活動、語学力の向上に励む。アルバイトやボランティアなどの課外活動をする。このような活動は大学院進学や就職活動など、将来のキャリアについて考える場合にとっても重要になる。未来について考えるときになり、自分が大学で勉強したことや、達成したことを詳しく振り返ることは難しい。そこでポータルフォリオが役立つのだ。

KGPortfolioには、本学の各部署から様々な機能が提供されている。キャリアセンターからは学生の考え・経験の蓄積をし、進路選択や就職活動に役立つ機能が提供されている。1回生から4回生まで学年に応じた設問が用意され、書き込みができる「キャリアシート」や、自分の人生経験や人生の浮き沈みを時系列でグラフ化した「ライフラインチャート」、自分の特性を知ることができる「強みチェックシート」などだ。本来ならば就職活動を始める時期に行うものをその時々で記録することによって、より深い分析が可能になる。

国際教育・協力センターからは、留学の種別やその期間のデータ、留学の際に国際連携機構に提出する活動記録の一部が提供される。ここにもコメント機能がついており、自分が感じたことをこまめに蓄積できる。

ポータルフォリオはLUNAやスマートフォン向けのアプリ「KGPortfolio」から利用できる。アプリはこれまでに6000ダウンロードを記録している。一人でも多くの学生が質の高い大学生活を送る手助けとなるこのサービスを利用することを望む。

この他にも学修における目標や生活における目標を立てられる。定期的に進捗を確認するアンケート機能があり管理もしやすくなっている。さらに、自分が更新した項目を時系列に表示してくれるタイムラインの機能や、自分が参加した留学説明会やキャンパスライブABCなどのイベントの参加状況が分かる機能もある。自分がどの時期に何を考えていたかを把握できる。今までは、成績通知書に記載されている数字の羅列だった

で受験したものの他にも、外部で受験した試験結果も入力することができ、自身のスコアの伸びを測ることができる。学生活動支援機構からは、年度ごとの課外活動の活動名や期間が提供され、自由にコメントの入力が可能だ。

今後、KGPortfolioを活用していく部署は増えていく予定だ。トレーニングセンターの入室記録や、保健館からは学生定期健康診断の結果に加えて、食事や喫煙など健康に関する情報を提供してくれる。また、本学卒業後にも記録した情報を参照できるようにしたり、推薦入試やAO入試で本学への入学が決まった学生に使用したりしてもらえそうな仕組みも検討している。今回取材をした高等教育推進センターの中村洋右さんは「教員や職員など大学側からの支援をきっかけにして目標を設定して欲しい。自分の気付きを一言ずつでも構わないので蓄積し自分を見つめ直す道具として活用してほしい」と学生への願いを語る。



# ~NO CHAPEL, NO KG~

チャペルアワーは1時限目と2時限目の間に設定されている。関学生であれば一度は行ったことがあるだろう。今回は西宮上ヶ原キャンパスの各学部の宗教主事の先生方にお話を伺った。学部ごとに異なる趣を持つチャペルの魅力と、学部独自で行われているチャペルアワーの様子を調べてみた。

## はじめに



関西学院大学 宗教総主事 舟木 謙

チャペルアワーは関西学院全体で重要な教育プログラムの一つだと考えられています。関西学院大学のチャペルの歴史は古く、また、神学部、文学部、経済学部のチャペルの内装は、1929年に上ヶ原へ移転した当時の状態を現在もほぼ保っています。

チャペルアワーはキリスト教主義教育を具現化したものとして、大学全体で取り組まれます。学生は必修科目であるキリスト教を受講し、そしてチャペルアワーに参加することで、キリスト教の世界が身をもって体感できるのです。

チャペルアワーが授業と授業の間に行えるのも、教職員や学生の理解と協力なくしてはできません。語るものと聞くもの、ともに問い問われる場として、まさに双方方向で作り上げる時間なのです。



## 神学部



「チャペル」と聞いたときに、神学部を一番に思い浮かべる人は多いのではないだろうか。神学部のチャペルは本学が上ヶ原へと移転した1929年に建築され、今も愛着を持って使い続けられている。メソヂスト教会の正式な建て方に則っており、収容人数80名のこぢんまりとした

造りと高い天井、そして正面の聖壇が印象的だ。その内部に飾られているステンドグラスは、神学部の卒業生が母校のために寄贈したもので、青いガラスが幻想的である。神学部礼拝委員会委員長の

水野隆一教授によると、神学部生の4割が牧師や伝道師となり、教員も全員がクリスチャンである。そのため、他学部よりも「キリスト教の礼拝」を意識して行っている。チャペルアワーでは、通常の講義での学習に加えて実際に「生きたキリスト教」を体験できる。ほかにも、将来は牧師となるために特定の授業を履修した大学院生や、神学部を卒業して現在牧師として実際に働いている方が話をする

## 文学部

文学部のチャペルは、1929年の上ヶ原移転時に建築された、本学の中でも歴史あるチャペルである。文学部棟の第一教室として、キリスト教など通常の授業でも使用されるため、椅子とともに机も設置されている。最大200名が収容できる室内は階段状の構造になっていて、窓が大きくチャペル全体が明るいのも大きな特徴だ。

週3回開催されるチャペルアワーのうち、毎週金曜日はイングリッシュ・チャペルとして行われる。宗教主事のアンドレアス・ルスターホルツ教授がすべて英語で行う。イ



ングリッシュ・チャペルを実施している学部は少ないため、他学部の学生も参加している。配布される式次第や聖書のプリントには日本語訳も印刷されているため、内容がまったく理解できないということはないようである。最初は雰囲気圧倒されてしまう学生もいるのだが、複数回出席することで緊張も解けていくという。

## 社会学部



社会学部のチャペルはかつて教室と兼用だったものを建て替えたものであり、学内では専用のチャペルとして1番最近に新築された。

正面にあるバナーは社会学部のシンボルを表しており、旧チャペルの頃から使われていた。これは宗教主事の打樋啓史教授と宣教師のルース・M・グルーベル教授が、フィリピンの身寄りのない女性が人形を作る活動を支援しているNGOに制作を依頼したものである。明るさにもこだわっており、照明にはLEDの白熱電球が使われている。社会学部では毎月チャペル

ことがあっても特徴だ。毎日行っているチャペルアワーは、上回生になるほど出席率が高く、特に編入生や大学院生がより多く参加している。今後はFacebookなどを通じて情報発信していくそうなので、こちらも要チェックだ。

## 法学部

上ヶ原では唯一の2階席があるチャペルを持つのが法学部だ。チャペルは、内部にヨーロッパ的な建築様式を持ちながらもアジア的なタペストリーなどを取り入れ、神秘的な空間となっている。チャペルに飾られている作品は、歴代の宗教主事と宣教師が協



力して調達してきたものである。5月17日には画家の渡辺総一さんの絵が2枚チャペルの後ろに飾られる予定だ。法学部独自の取り組みとしては、複数言語によるチャペルアワーが挙げられる。複数言語とは、英語以外にもドイツ語や中国語などであり、このような言語を母語として使っている人々に自分たちの文化などについて英語を用いて話してもらうことが目的だ。ほかにも、キリスト教の暦の上では空白にあたる9月から10月にかけての3週間には「Time for Creation」という題で環境や生物多様性に関する内容のチャペルを行っている。期間中は学部や学内で特にそのテーマに関する研究し

## 社会学部



の予定表を発行し、月ごとに共通のテーマを定めている。各テーマに沿って学部の教員が自身の研究内容や、経験などを語っている。これをもとにゼミを決める学生も多いようである。チャペルアワーには2年生以上も多く訪れるそうである。3年前からは内容を厳選したものを年度終わりにチャペル講話集として発行され、学部の新入生全員に配布される。他にもチャペル内にバンドの設備が整っており、打樋教授がメンバーを集めて世界の讃美歌などを歌うバンドスタイルのチャペルを行っている。昨年のクリスマスにはボサノバでクリスマスソングを演奏し大好評だった。今回は6月28日に開催予定だ。

下の設備が整っており、打樋教授がメンバーを集めて世界の讃美歌などを歌うバンドスタイルのチャペルを行っている。昨年のクリスマスにはボサノバでクリスマスソングを演奏し大好評だった。今回は6月28日に開催予定だ。

CHAPEL DATA  
場所：H号館1階  
開催日：火・水・木

## 社会学部



CHAPEL DATA  
場所：文学部棟1階  
開催日：火・木・金

## 社会学部

CHAPEL DATA  
場所：神学部棟2階  
開催日：月～金

CHAPEL DATA  
場所：法学部棟  
開催日：火・水・木



### 総力取材

# 関学チャペルアワー特集

## 経済学部

経済学部のチャペルは、1929年の上ヶ原へ移転した当時の姿を今も残している。最大150名を収容できるチャペルは階段状になっているため、聞き手である学生と話し手である教員の距離が近いのも大きな特徴である。経済学部は他の学部在先がけて、クリスマスチャンではない



## 商学部

商学部のチャペルは、商学部棟2階の第10教室を改装して作られたため、縦に長い構造になっている。また照明が蛍光灯ではなく、すべて天井から吊り下げられた白熱電球であるのも、趣が感じられる。最大150名を収容できるチャペルは1回生が多く参加し、立見が出ることもある。宗教主事の山本俊正教授は、教育活動の一環であるチャペルアワーには、多くの学生に参加してもらいたいと話す。チャペルアワーを体験することによって、座学だけでは味わえないキリスト教の深い理解につながるのだとい

う。そのため商学部では、チャペルアワーの出席回数に応じて、キリスト教の授業成績への加点が行われている。チャペルアワーには商学部の教員はもちろん、最近まで留学や学外研究を行っていた教員による講話の機会も多い。自身の研究テーマから旅行、お気に入りの本まで内容は多岐にわたる。そして秋学期には、退職する教員による「最終チャペルトーク」も開



催されている。また今年からは、新たにアメリカ人の教員が宣教師として商学部へ赴任した。今後は週1回イングリッシュ・チャペルを開催する予定だという。今後も新たな取り組みを行っていく商学部のチャペルに期待したい。

CHAPEL DATA  
場所：商学部棟2階  
開催日：火・水・木

CHAPEL DATA  
場所：経済学部棟2階  
開催日：月・火・水

## 人間福祉学部

人間福祉学部のチャペルの内部は広々とした空間になっており、最大150名が収容できる。宗教主事の嶺重淑教授によると、週3回のチャペルアワーに訪れるのは多くが人間福祉学部の1回生だ。特に月曜日と金曜日は1時限目がキリスト教の授業ということもあってか出席人数は多い。また、授業を行う教室から近いこともあり、他学部の学生もよく参加するそうだ。チャペルアワーでは、人間福祉学部の教員のほとんどが2年に1度のペースで話をしている。普段の授業ではなかなか話せない個人的な経験が



## 国際学部

国際学部は、本学では数少ない、教室とチャペルを兼用している。だが、「チャペルらしさ」を演出するために黒板にカーテンをつけることや、部屋の両脇に白熱電球を付けて照明で部屋の明暗を調節している。これらは数年前に通常の教室であったIS303

教室に改修工事を施し、チャペル空間とする際に追加されたものだ。もともとは授業用の教室であるため、教材や音響などの設備も充実しており、定員は300名と上ヶ原にあるチャペルでも最大級だ。宗教主事の平林孝裕教授によると、チャペルアワーには特に季節ごとの教会行事を大切にしているという。それには学生に教会で行われるリタージカルなものに触れ、日常とは違った体験をしてほしいという願いが込められている。また、キリスト教の行事は厳格なだけでなく楽しむことも重要であるので、体験の共有を大切にすると側面もある。例えばイースターやペンテコステのような行事の際には、普段の

中心のため、学生たちも熱心に耳を傾けるようだ。他にも、学部独自の特色としてクリスマスシーズンの夜にクリスマス祝会を開催している。最初に簡単な礼拝をした後に、学生が出し物をしたり、サンタクロースに扮した学部長がプレゼントを配ったりと教職員、学生ともに楽しめるような内容となっている。これは学部創設当初から行事の一環として行っているものであり、毎年大体100人程度が参加する。当初は学生ラウンジで行っていたが、一昨年から喫茶OFT TIMEで行うようになったそうだ。皆さんも、G号館に用事があるときは人間福祉学部のチャペルに立ち寄ってみてはいかがだろうか。



CHAPEL DATA  
場所：G号館2階体育館側  
開催日：月・水・金

CHAPEL DATA  
場所：G号館13003教室  
開催日：火・水・木

## 取材を終えて…

「関学チャペルアワー特集はいかがだっただろうか。本日は西宮聖和キャンパス、神戸三田キャンパスのチャペルも取材したいところであったが、時間の都合上断念することとなった。今回の特集を見て、少しでもチャペルに興味を持っていただければ幸いである。せっかく本学に在学しているなら、自分の学部のチャペルだけに行くのもいい。ぜひ、チャペルアワーにチャペルへと足を運び、特色豊かな各学部のチャペルを体験してみたい。

最後に、今回の取材にご協力いただいた各学部の宗教主事の皆様、礼拝委員会の皆様にご場を借りてお礼申し上げます。

## Facebook



## Twitter



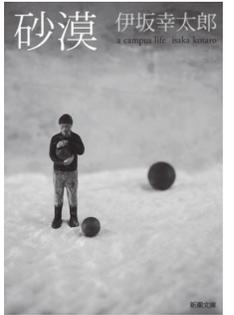


教授の背中

入学、一人暮らし、新しい友人、麻雀、合コン、アルバイト…。普通の学生生活を



「砂漠」伊坂 幸太郎



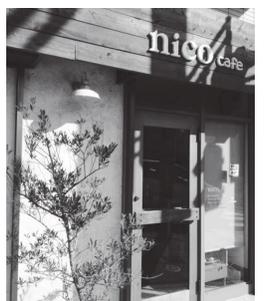
楽しむ5人の男女。通り魔犯との遭遇や、捨てられた犬の救出、超能力対決を通して共に経験した出来事や事件が互いの絆を深め、それぞれを成長させてゆく。社会という「砂漠」に巣立つ前の「オアシス」で、自らの未熟さに悩み、過剰さを持って余し、それ

でも何かを求めて手探りで前へ進もうとする青春時代。瞬く間に過ぎてゆく日々の中で、彼らは最も大切な物は何かに気づき始める。この作品の作者は、『重力ピエロ』や『ガラスホッパー』、『陽気なギャンブル』シリーズなどの小説で知られる伊坂幸太郎だ。彼の作品の魅力は、ストーリーの構成力と緻密な伏線にある。だが、この作品は衝撃のどんでん返しがあるわけでもなければ怒涛の伏線回収があるわけでもない。心

惹かれるのは、個性的なキャラクターの存在感だ。冷静な主人公・北村、陽気な親友・鳥井、熱い変人・西嶋、超能力者・南、不愛想な美人・東堂。5人の性格や考え方は全く異なっている。「大学の1年間なんてあっという間だ」。作中にこんな台詞がある。今まさにそう考えている学生も、一度社会に出た人も、この本を手にとってみるといい。きつと深いテーマを見つけることができるだろう。

おすすめのお店探し隊! vol.12 「nico cafe」

店主の佐久川敦子さんは「仁川には、お洒落な店が少なくない。だから私がつくろう」と仁川にカフェを開いた。それが、今紹介する素敵なお店のnico cafeだ。本学から仁川沿いを歩いて徒歩10分、仁川駅の少し先にある。こだわりの骨董品で飾



られた店内にはゆっくりと落ち着いた空間が広がる。店名の「nico」には、お客さんに「ニコニコ」してもらいたいという思いと、「双子」という意味が込められている。佐久川さんはカフェ店主の他に、双子のお母さんという一面も兼ねているのだ。nico cafe看板メニューのスコーンは国産の小麦と四つ葉バターときび糖で作る、こだわりの品。健康のため鶏卵を使わず焼いているが、生地はしっとりとして甘く、非常に美味だ。プレインスコーン以外にもチョコレート、アップル、黒糖、ブルーベリークリームチーズ、抹茶小豆と豊富な種類のスコーンを揃える。1日に36個限定の販売なので売り切れに要注意だ。店内で食べるだけでなく、テイクアウト

「関学の学生さんも授業の前にモーニングや、授業後にお茶しに来てください。」と佐久川さんは語る。今日は、キャンパスの喧騒から離れ、仁川のカフェで癒されよう。あなたもぜひ。

赤星 聖

法学部 助教

赤星助教は、本年度から本学に着任し、国際関係論を専門とする。国際問題の解決に向けて、国家間で協力するためにはどのような国際制度が必要か、また、国家の枠を超えた国際機構や非政府組織（NGO）、企業といったアクター（行為主体）がどのように協力関係を構築しているかを研究している。特に、紛争や自然災害などに伴い必要となる人道支援を、いかに効果的に効率よく行えるかについて高い関心を抱いている。

赤星助教が国際関係に興味を持ち始めたのは、大学1年のときだ。基礎演習の授業で、難民がテーマになったのがきっかけだった。その後、武力紛争などによって自国内で避難生活を強いられている国内避難民について学び、「難民は国際法で保護されるのに対し、国内避難民の国際的支援は確立していない」と、国際的支援の在り方に関心を寄せるようになった。大学では国際政治を学ぶ機会が少なかったため、在籍していた大学の大学院で、国際関係の授業を聴講するようになった。

大学院に進学後は、国内避難民の研究に引き続き取り組み、スイス・ジュネーブで調査することもあった。外交官や国連職員に憧れた時期もあったが、博士課程で行っていた自身の研究に研究費がいたことで「自

「人生の軸」見つけてほしい

分の研究には意味があると認められた」と実感した。そして、もっと研究を進めたいとの思いから、大学教員を志すようになった。赤星助教は「関学の教員になれたことはとても幸運だった。これからは教員として、国際社会の難しさや面白さを学生に伝えられたい」と意気込む。一方、研究者としては、国内避難民について本にまとめる予定だ。また、これまでは紛争時の人道支援に焦点を当ててきたが、今後は自然災害における人道支援制度構築の研究にも力を入れ、人道支援の全体像を把握していくという。さらに、単なる応急処置ではなく、長期的な開発への橋渡しとなるような人道支援を、国際的にどのように行っていくべきかについても検討するつもりだ。最後に、大学生の間は「自分の好きなことを極めてほしい」と穏やかに語った。それは、勉強、スポーツ、サークルなど何でも構わないが、勉強に関しては「自分がおもしろいと感じたトピックについて、調べ癖をつけてほしい。この習慣は将来、社会に出たときにも必ず生きてくるだろう。大学生活は、4年間をどう使うかで決まる。まわり道もする中で今後の人生において軸となるものを見つけてくれれば」と学生に温かいメッセージを送った。

あかほし しょう

- 2010年 大阪大学法学部卒業
2012年 神戸大学大学院法学研究科修士課程修了
2015年 神戸大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学
2016-17年 ジョージタウン大学国際移民研究所客員研究員
2017年 関西学院大学法学部助教

☆基本情報☆

- 営業時間 9:00-17:00
定休日 日・月・祝
住所 西宮市段上町4-7-11
TEL 0798-55-7112
HP http://nico-cafe.net



落ち着いた雰囲気店内



看板メニューのスコーン



# K.G. studio

今回のK.G.studioはタイムスリップとK.G. PEOPLEです。タイムスリップでは、少女漫画、アニメーション、特撮作品を制作する伊勢田勝行さんに、K.G. PEOPLEでは、HAPPY NEWS 大学生大賞（個人）を受賞した今関奈々子さん（国・2）にお話を聞きました。

## K.G. PEOPLE

### #24. HAPPY NEWS大学生大賞(個人)受賞

### 今関 奈々子さん (国・2)

「私の髪で、誰かが笑顔になつてくれたら嬉しい」はつらつとした笑顔でそう語るのは、HAPPY NEWS 大学生大賞（個人）を受賞した今関奈々子さん（国・2）だ。HAPPY NEWS 大賞とは、日本新聞協会が年に1度行っている、読んで心が温かく幸せな気持ちになったり、勇気が湧いてきた新聞記事にコメントを寄せ、入賞作品を発表するというものである。

今回、今関さんが読んだのは、髪に悩む人たちのために自分の髪を寄付する、ヘアドネーションについての記事だった。大賞を受賞したときの気持ち、「驚きと嬉しさが7対3くらいだった」と話す今関さん。まさか大賞を受

賞するとは思っていませんでした。今関さんは、高校入試の勉強の1環として中学3年生のときから新聞を読み始め、それが今も続いているという。そのような習慣が今回の受賞にも繋がった。今関さんが今回の記事に出会ったのは今年の1月。いつものように新聞をめくっていると「君に笑顔私の髪で」という見出しに目が釘付けになった。高

校時代まで陸上をしていた今関さんは、大学生になって髪を伸ばし、アレンジを楽しんでいた。ところが家族に長い髪が不評で、切るのかと思っていたところに飛び込んできたのがこの記事だった。この記事を読んで、今関さんは

「私の髪が誰かの力になれるんだ」と胸が高まったという。それから記事のことを母親に話し、自身もヘアドネーションをすることを決意した。ヘアドネーションをすることを、多くの人を知って決めること。だと今関さんは話す。「まずはヘアドネーションというものがあることを知ってほしい。少しでも力になりたい人は、そのままだ」とゴミになる髪を封筒に入れて送るだけではないから、ぜひ参加してほしい。それで誰かが笑顔になるのだから」と熱い思いを語ってくれた。今関さんの髪が誰かを笑顔にする日もそう遠くはない。あなたも自分の髪で誰かを笑顔にしてみたいかだろうか。

この「髪」が純粋たる「感動」を薄れさせてしまう。よって「文学」は他の芸術と比べ大衆寄りになってしまう、その地位を特殊なものにしているのだ。

## タイムスリップ

### 第17回 伊勢田勝行さん (91年卒)



伊勢田 勝行 (いせだ・かつゆき)

1698年神戸市生まれ。1991年に関西学院大学商学部卒業。一般企業に勤めながら、少女漫画やアニメーション、特撮作品の制作を行う。2015年に三戸なつめの楽曲「前髪切りすぎた」などのミュージックビデオを手がける。

発表媒体は、集英社の漫画雑誌「マーガレット」や、漫画同好会の会誌「田楽」、関西学院大学の新月祭での上映などです。2015年には、タレントである三戸なつめさんの楽曲「前髪切りすぎた」のミュージックビデオを手がけました。

「文学」という芸術は、集英社の漫画雑誌「マーガレット」や、漫画同好会の会誌「田楽」、関西学院大学の新月祭での上映などです。2015年には、タレントである三戸なつめさんの楽曲「前髪切りすぎた」のミュージックビデオを手がけました。

今回取材したのは、少女漫画、アニメーション、特撮作品を制作する伊勢田勝行さんである。学生時代は漫画同好会に所属し、今も部室を訪れている。また、タレントである三戸なつめの楽曲のミュージックビデオも手掛けた。

私は男性ですが、子どもの頃から、少年漫画より少女漫画を好みました。「りぼん」といった少女漫画雑誌を読み、それに影響され少女漫画を描き始めました。学生時代は漫画同好会に所属し、少女漫画やアニメーション、特撮

作品を制作しました。卒業後は一般企業に就職しました。現在も、働きながら作品制作を続けており、漫画同好会の部室に入っています。なぜ少年漫画ではなく少女漫画や特撮作品なのか。それは、子どもなりにその深さに気づいたからです。少年漫画は、正義と悪が題材のバトルばかりで、最後は殴り合いで解決される単調なものです。一方、少女漫画や特撮作品は、単純な正義や悪、物理的な力の話ではありません。また、この2つは構造が似

ています。少女漫画は「主人公」が「相手役」のゲットを狙い「ライバルの女の子」がそれを守ります。特撮作品は「悪役」が「地球」のゲットを狙い「スーパー戦隊ヒーロー」がそれを守ります。「主人公」「悪役」はそれぞれ全体を見ますが、少年漫画の「ヒーロー」は自分の周りしか見ていません。少年漫画の限界を感じたのです。

長年パソコンを所有しておらず、アナログな方法で作品制作をしてきました。アニメーションであれば、紙に描いた大きな背景の上に、透明なフィルムに描いたキャラクターを配置します。そして、ビデオカメラで部分ごとに撮り分け、つなげていきます。特撮作品であれば、CGは使わず模型を多用し、また漫画同好会の部員に登場人物として協力してもらい、約1時間の作品に仕上げます。アニメーションでも特撮作品でも、著作権の問題があるため、キャラクターの声や音楽はほとんど自作しています。

と伸びているに違いない。秋学期に留学に行くぎりぎりまで伸ばし、寄付をしてから留学しようと考えている。受賞して嬉しかったことを聞くと「ヘアドネーションのことを、多くの人を知って決めること。だと今関さんは話す。「まずはヘアドネーションというものがあることを知ってほしい。少しでも力になりたい人は、そのままだ」とゴミになる髪を封筒に入れて送るだけではないから、ぜひ参加してほしい。それで誰かが笑顔になるのだから」と熱い思いを語ってくれた。今関さんの髪が誰かを笑顔にする日もそう遠くはない。あなたも自分の髪で誰かを笑顔にしてみたいかだろうか。

「文学」という芸術は、集英社の漫画雑誌「マーガレット」や、漫画同好会の会誌「田楽」、関西学院大学の新月祭での上映などです。2015年には、タレントである三戸なつめさんの楽曲「前髪切りすぎた」のミュージックビデオを手がけました。

## 芸部 読み切り小説

### 「文学」という芸術

往乃 よる

芸術というジャンルは絵画を始め、音楽、写真、彫刻というように非常に多岐にわたる。もちろん文学もその中に含まれる。

しかしこの芸術作品として「文学」というジャンルを眺めるとき、そこに大きな違和感を私は覚える。果たして文学は他の芸術と同じものであるのだろうか？

これは私の個人的な考えになってしまっているのだが、文学というジャンルは芸術品という観点から見た場合、特殊な位置に存在しているのだと思う。これが絵画である場合、広く一般人から見ても素晴らしいとわかる「モナ・リザ」であるとか「ひまわり」であるといった多くの芸術品が存在する。それは写真であつたり映画であつたり陶芸、彫刻にいたるまで数多くの芸術のジャンルに共通していると思う。しかし文学に至ってはその限りではない。その理由として一つに言葉の壁というものがあつるからだ。絵画であるならば（ある程度の予備知識を必要とするが）見るだけで良い。また音楽であるならば聞くだけで良い。両者には全世界の人間に伝わる、言葉以上の「言語」が存在する。しかし小説にはそれが無い。もちろん翻訳はあるのだがそれは文字の持つニュアンスが微妙に、また大きくずれてしまうのだ。この経験はある程度海外文学に慣れ親しんだ人には必ず起こるものだと思う。つまり小説を完璧にかみ砕くためにはその国の言語を習得することをしなければならぬ。これが大きな壁として立ちちはだかる。

人生の中で習得できる言語には限界があるから。つまり文学作品での至高を探し出すのは狭い範囲で行われる。ここで私たち日本人の視線に立って、日本での芸術品と呼べるものの文学作品はどれくらいあるのか検討してみよう。主観的観点からでも構わないので、自分が今まで読んできた文学作品で芸術品と呼べるものはいくつあつたらうか。私はこれまでそれなりの数の文学作品に触れてきたが、芸術品とまで言えるものはそうそうない。これは文学というものの特性で、「感動」と共に「面白い」という感情が湧いてくるから。例えば先ほどの「モナ・リザ」では、それを見たときに「面白い」という感情は湧き起るだろうか？ 起るとしてそれは「面白い」ではなく「interesting」ではないだろうか？

私は文学が名作たり得る条件の一つとして「面白い」が必要であると考えている。それは文学が性質上、一目ではその芸術性が分らないものとなつてしまっているからだ。その物語の芸術性が発揮されるためにはそれに至るための下準備が必要なのであり、それに読者が注目してもらうために「面白い」の要素が必要になるのだ。

この「面白い」が純粋たる「感動」を薄れさせてしまう。よって「文学」は他の芸術と比べ大衆寄りになってしまう、その地位を特殊なものにしているのだ。

# GOGO!! お好み1日旅行



今回紹介する旅行プランを支えてくれるのは、阪急電鉄が販売する「OSAKA海遊きっぷ」！この切符は京阪神の大部分をカバーする阪急電車と大阪市営地下鉄・ニュートラム・バスが1日乗り放題となる凄い切符なのです。ただ、価格は大人1人で2,960円と少しお高め。でも名前の通りこの切符には海遊館の入場券がついていて、その値段が2,300円であることを考えるとかなりお得です。主要な阪急電車の駅で旅行当日から購入できるので、予約やツアーなんて面倒なものは一切なし！それでは京阪神1日旅行へ出発してみましょう！



## 気になる所は残さずに

楽しかった1日ももう終わり。あとは帰るだけだと思いますか？道頓堀や神戸三宮、梅田でも何処でも最後においしい食事をしてはどうでしょう。もしくはゆったり喫茶店にでも寄って、今日の成果の確認と次の旅の予定を組むのもいいかもしれません。

## 夜の海を見に行こう

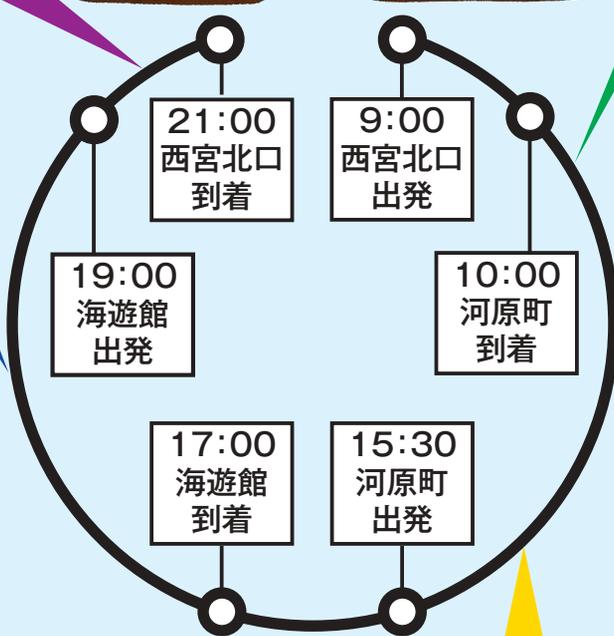
海遊館の名前を知らない人は多いはず。環太平洋の海をイメージした巨大水槽を持っていて、620種30,000点以上の生き物を見ることができる関西屈指の水族館として有名です。「もう何度か行ったことがあるし、全部見て回ったよ」と思うかもしれませんが、実は夜の海遊館は昼とは別の雰囲気を持っているのです。切り替わるのは17時、館内BGMがゆったりとしたものに変化し、照明も夜に合わせて月明りを模した幻想的なものになります。昼間の賑やかな空気は去り、1日の締めくくりにふさわしいリラックスできる場になる夜の海遊館。行く価値は十分あるはずです。

## 旅ポイントその2

「OSAKA海遊きっぷ」以外にも、1,200円で阪急電車、阪神電車と神戸高速線が乗り放題の「阪急阪神1dayパス」や土日600円で大阪市営地下鉄・ニュートラム・バスの乗り放題に大阪観光スポットの割引特典が付く「エンジョイエコカード」もあります。自分のスタイルに合わせた切符を選びましょう！

### ゴール

### スタート



## ブレイクタイム☆

京都と言ったらお寺や神社だと思っているそのあなた！まだまだ甘い。実は京都はコーヒーの消費量が日本でもトップレベルで、おいしいコーヒーを飲めるお店がたくさんあるのだ。「ずっと観光しながら歩くのはしんどい…」そんな人は、お昼にカフェでゆったりと京都を楽しむのもいいかもしれない。

また、京都に行って外せないのが抹茶。あなたも友人のSNSで「今日は京都に行ってきた♡抹茶おいしい〜♡」といった投稿を一度は見ただことがあるのではないだろうか。今度はあなたが投稿する番である。さあ、京都でおいしいものを食べよう！

## 日本の美！金閣寺

日本人なら一度は見に行きたい金閣寺。誰もが教科書などで見たことがあるだろう。しかし、実際に目にしたときにはその神々しさと美しさに圧倒される。そんな金閣寺を、気候の良いこの季節に心ゆくまで鑑賞するのはいかがだろうか。この時期なら、緑と金の対比が美しい。ちなみに金閣寺には外国人の観光客もとても多い。というか、もはや外国人しかいない。それは言い過ぎかもしれないが、もしかするとあなたが金閣寺の美しさに酔いしれているときに、「Could you take my picture?」とお願ひされるかもしれない。



## 旅ポイントその1

ここでは午前中を京都観光にしているけど、もちろんこの切符で行けるところならどこでも遊びにいきます！新世界での下町散策、中之島公園のバラ園と歴史探訪みたいに自分だけのプランを立ててみましょう。あえて予定を立てずに各駅の隠れた名店を探してみるのも楽しいかも。

## 関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

### ● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・  
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



兵庫県公安委員会指定

# 三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995  
E-mail:sanda-as@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード